指定管理者制度導入施設における令和７年度の評価結果について

１　概要

指定管理者制度導入施設においては、効率的な施設運営と市民サービスの向上のため、毎年度、制度導入による施設の管理運営状況について評価し、評価結果を市のホームページにて公表することとしている。

指定管理者及び施設所管課において、「制度導入によって目指す施設の姿」と、それを達成するための数値目標を設定し、令和７年度の管理運営状況について実績を踏まえ評価を行った。

２ 対象施設

令和７年４月１日時点で指定管理者制度を導入している全施設（189施設）

※　令和７年度内に用途廃止を決定した施設を含む

３　評価対象の期間

令和７年４月１日～令和８年３月31日（令和７年度）

４　評価の区分について

次ページ「評価基準」に基づき、以下の区分で評価を行った。

区分	概要
⑴ 数値目標に対する評価 （評価項目①、②）	施設の管理運営状況に対する**定量的な**評価項目。 「制度導入によって目指す施設の姿」を達成するための目標として、指標及び目標値を設定し評価するもの。 （指標の例）施設利用者数、利用者の満足度アンケートなど
⑵ 管理運営に対する評価 （評価項目③～⑭）	施設の管理運営状況に対する**定性的な**評価項目。 市が設定した統一的な12項目について評価するもの。

５　結果

各施設における年度評価結果は以下のとおりであった。

年度評価	基準	施設数
ＡＡ	数値目標に対する評価と管理運営に対する評価の評価項目全てがＡ以上、かつ、数値目標に対する評価のＡＡが１つ以上、管理運営に対する評価のＡＡが３つ以上である。	0
Ａ	数値目標に対する評価と管理運営に対する評価の評価項目のＡ以上が８割以上、かつ、Ｃ評価がない。	176
Ｂ	数値目標に対する評価と管理運営に対する評価の評価項目のＡ以上が５割以上８割未満、かつ、Ｃ評価がない。	4
Ｃ	数値目標に対する評価と管理運営に対する評価の評価項目のＡ以上が５割未満、または、Ｃ評価が１つ以上である。	2

【参考１】年度評価がＡ以外となった施設

◆B評価となった施設

No.	施設名	主な要因	評価の理由
60	花と泉の公園	項目⑦⑪⑭が Ｂ評価	⑦　消防訓練の実施回数が規定に達していないため。 ⑪　ホームページ等を活用した施設紹介、イベント周知が不十分のため。 ⑭　収支赤字となったため。
70	藤沢スポーツランド	項目④⑤⑭が Ｂ評価	④　資料提出の遅れや計算誤りが多いため。 ⑤　研修は未実施だが、代替手段（知識や技能向上のための指導）により業務改善を図っていたため。 ⑭　収支赤字となったため。
85	室根高原牧野	項目①③⑭が Ｂ評価	①　預託牛頭数計画の未達のため。 ③　施設及び車両等の突発的な修理が多いため。 ⑭　収支赤字となったため。
95	藤沢交流施設	項目④⑤⑭が Ｂ評価	④　計画どおり職員を採用し、配置できなかったため。 ⑤　人手不足により各種研修が出来なかったため。 ⑭　収支赤字となったため。

◆C評価となった施設

No.	施設名	主な要因	評価の理由
76	一関牧野	項目③⑤⑭が Ｃ評価	③　夏期放牧未実施のため。 ⑤　職員研修未実施のため。 ⑭　収支計画どおり取り組めなかったため。
171	並木ケ丘コミュニティグラウンド	項目②が Ｃ評価	②　悪天候による大型イベントの中止による利用者減のため。

【参考２】指定管理者による自己評価と市の評価の結果が一致しない項目があった施設

◆ 評価結果が一致しない項目があった施設数	31 施設 /　126 施設
◆ 評価結果が一致しなかった項目数	45 項目 / 1,512 項目
うち市の方が**高く**評価した項目数	17 項目
うち市の方が**低く**評価した項目数	28 項目

評価基準

市と指定管理者が対等の立場で評価し、課題を共有しつつ指定管理者の努力を評価できるよう、以下の評価基準とする。

4(1) 数値目標に対する評価 （①、②）	
AA	達成率 130%以上
A	達成率 80%以上，130%未満
B	達成率 50%以上，80%未満
C	達成率 50%未満

4(2) 管理運営に対する評価 （③～⑭）	
AA	協定書・仕様書・業務計画書等を上回り、優れた実績をあげている。
A	協定書・仕様書・業務計画書等どおりに業務を行っている。
B	協定書・仕様書・業務計画書等をやや満たさない業務を行っており、一部に改善すべき課題がある。
C	協定書・仕様書・業務計画書等を満たさない業務を行っており、改善すべき課題がある。

項目ごとの基準（管理運営に対する評価）			チェック方法（例）	A評価の基準	AA評価の基準
設置目的・役割	③	設置目的に沿って事業計画どおり事業を行っているか。	事業計画書、事業報告書	計画どおり事業を行っている。または、一部に計画どおりではないものがあるが、代替手段で対応している。	
施設運営・体制	④	仕様書等に沿って職員や有資格者を適正に配置しているか。	仕様書、事業計画書、事業報告書	適正に配置している。または、一部に計画どおりではないものがあるが、代替手段で対応している。	効果的に管理運営を行うための工夫がみられる。
	⑤	職員や有資格者の研修を適切に行っているか。	研修に関する記録、聞き取り	施設の目的や課題に合致し、専門的知識や技能を向上する研修を行っている。	実際に管理運営や事業等に効果が発揮されている。
	⑥	一部の利用者に対して不当に利用の制限や優遇をすることはないか。	事業計画書、利用受付簿、報告書（月報）	適切に対応している。	
施設管理	⑦	緊急時対策や防災対策は適切に行っているか。	緊急時対策や防災マニュアル、報告書（月報）	マニュアルがあり、定期的に訓練等を実施している。	利用者も参加するなど、広く訓練等が実施されている。
	⑧	建物、設備、備品等は適切に管理しているか。	協定書、仕様書、現地確認	適切に管理している。	
	⑨	清掃、衛生管理、警備等は適切に行っているか。	協定書、仕様書、現地確認	適切に管理している。	施設の管理が行き届いている。
	⑩	協定に基づく秘密の保持、個人情報の保護、管理は適切に行っているか。	報告書（月報）、現地確認	適切に書類やデータを管理、廃棄している。	
情報発信	⑪	利用者の増加や満足度の向上のため効果的な情報発信を行っているか。	利用案内のパンフレット、広報やチラシ、ホームページやSNS等	効果的な情報発信を行っている。	情報発信の頻度や方法に工夫がみられる。
サービスの向上	⑫	講座や事業の内容は参加者にとって魅力的なものとなっているか。	事業計画書、事業報告書、利用者アンケート等	利用者の増や満足度を向上するための取組を行っている。（例：世代間交流、地域資源の掘り起こし、他地域との交流）	実際に利用者の増や満足度の向上につながっている。
	⑬	職員の対応などサービスの向上に取り組んでいるか。	事業計画書、事業報告書、利用者アンケート等	利用者の満足度を把握し、向上するための取組を行っている。	実際に利用者の満足度を把握し、その内容が運営や事業に反映されている。
運営状況	⑭	収支計画に沿って効率的な管理運営を行っているか。	事業計画書、事業報告書	計画どおり管理運営を行っており、収支が赤字になっていない。 ※1 ※2	

※1　指定管理期間内の余剰金の範囲内で行われた計画的な支出が主な要因で収支が赤字となった場合は、この限りではない。（年度評価シートに要因を記載すること）

※2 『自治集会所として使用する公の施設に係る管理主体の適正化について（H26.7.25一関市行財政改革推進本部決定）』の方針に基づき指定管理料を算定しない施設は、収支が赤字であっても、計画に基づき効率的に管理運営を行っている場合は、この限りではない。

年度評価の基準	
AA	数値目標に対する評価と管理運営に対する評価の評価項目全てがA以上、かつ、数値目標に対する評価のAAが1つ以上、管理運営に対する評価のAAが3つ以上である。
A	数値目標に対する評価と管理運営に対する評価の評価項目のA以上が8割以上、かつ、C評価がない。
B	数値目標に対する評価と管理運営に対する評価の評価項目のA以上が5割以上8割未満、かつ、C評価がない。
C	数値目標に対する評価と管理運営に対する評価の評価項目のA以上が5割未満、または、C評価が1つ以上である。